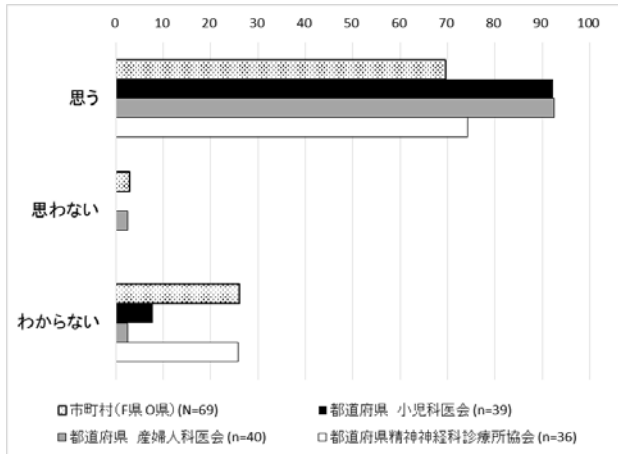


A1/A1/A1/A1 妊娠期から乳児期の親子の心の診療の多職種連携のためには、各市区町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
思う	69.6	92.3	92.5	74.2
思わない	2.9	0	2.5	0
わからない	26.1	7.7	2.5	25.8

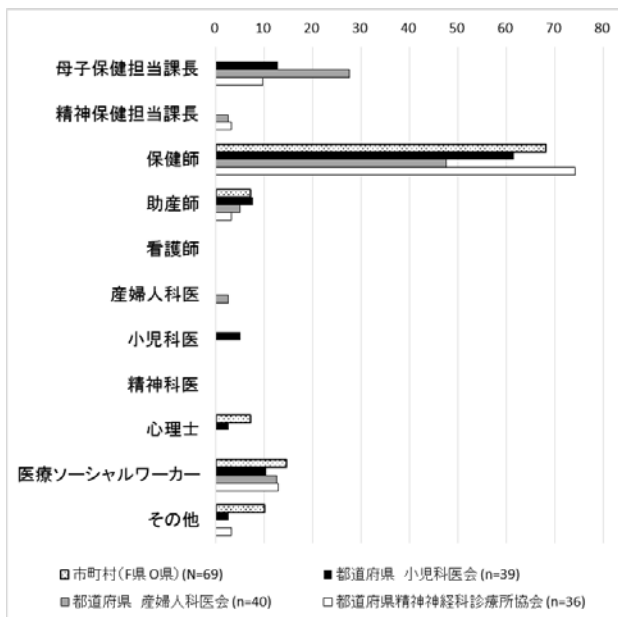
値は%を示す



A2/A2/A2/A2 コーディネーターが必要となった場合、各市区町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	12.8	27.5	9.7
精神保健担当課長	0.0	0	2.5	3.2
保健師	68.1	61.5	47.5	74.2
助産師	7.2	7.7	5	3.2
看護師	0.0	0	0	0
産婦人科医	0.0	0	2.5	0
小児科医	0.0	5.1	0	0
精神科医	0.0	0	0	0
心理士	7.2	2.6	0	0
医療ソーシャルワーカー	14.5	10.3	12.5	12.9
その他	10.1	2.6	0	3.2

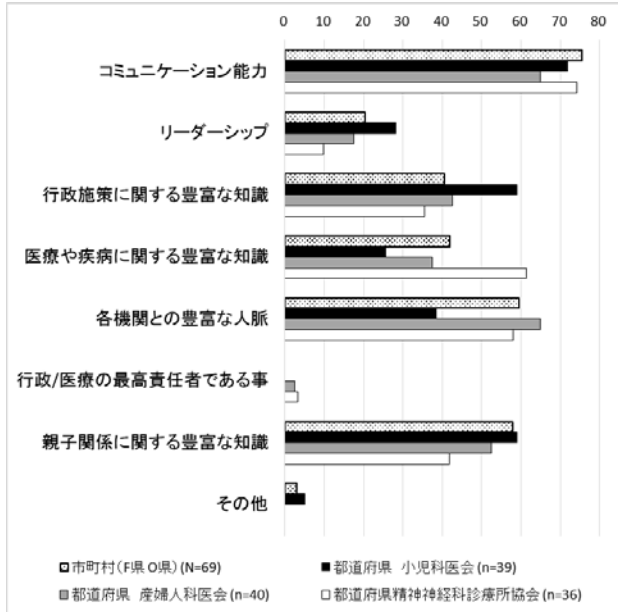
値は%を示す



A3/A3/A3/A3 コーディネーターに求められるスキルは何でしょうか？ 3つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神神経診療所協会 (n=36)
コミュニケーション能力	75.4	71.8	65	74.2
リーダーシップ	20.3	28.2	17.5	9.7
行政施策に関する豊富な知識	40.6	59	42.5	35.5
医療や疾病に関する豊富な知識	42.0	25.6	37.5	61.3
各機関との豊富な人脈	59.4	38.5	65	58.1
行政/医療の最高責任者である事	0.0	0	2.5	3.2
親子関係に関する豊富な知識	58.0	59	52.5	41.9
その他	2.9	5.1	0	0

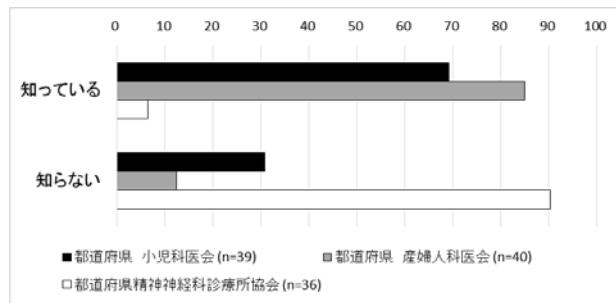
値は%を示す



一/A4/A4/A4 妊娠期から乳児期までの様々なニーズに対して切れ目ないワンストップ総合的相談支援を提供する「子育て世代包括支援センター」が全国市区町村に設置される予定があるのをご存知ですか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている		69.2	85	6.5
知らない		30.8	12.5	90.3

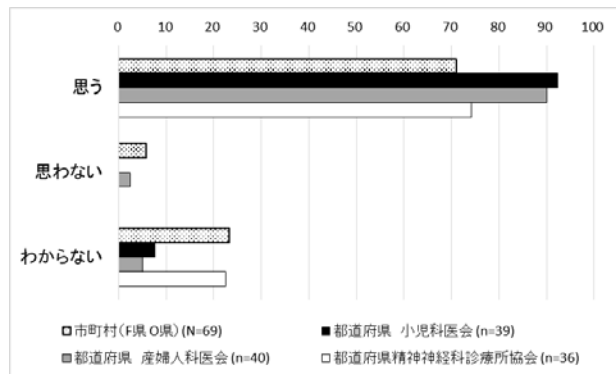
値は%を示す



A4/A5/A5/A5 コーディネーターを、将来（現在）設置される（されている）「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
思う	71.0	92.3	90	74.2
思わない	5.8	0	2.5	0
わからない	23.2	7.7	5	22.6

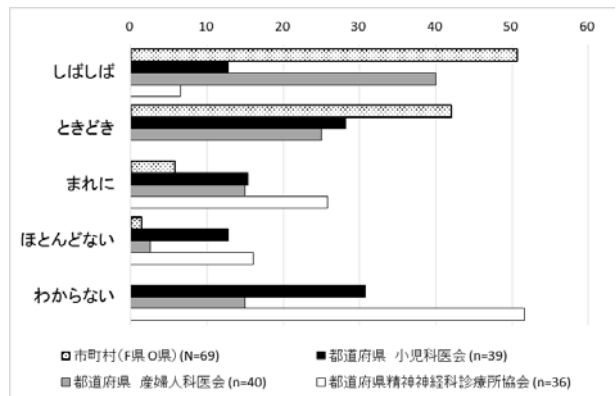
値は%を示す



A5/A6/A6/A6 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
しばしば	50.7	12.8	40	6.5
ときどき	42.0	28.2	25	0
まれに	5.8	15.4	15	25.8
ほとんどない	1.4	12.8	2.5	16.1
わからない	0.0	30.8	15	51.6

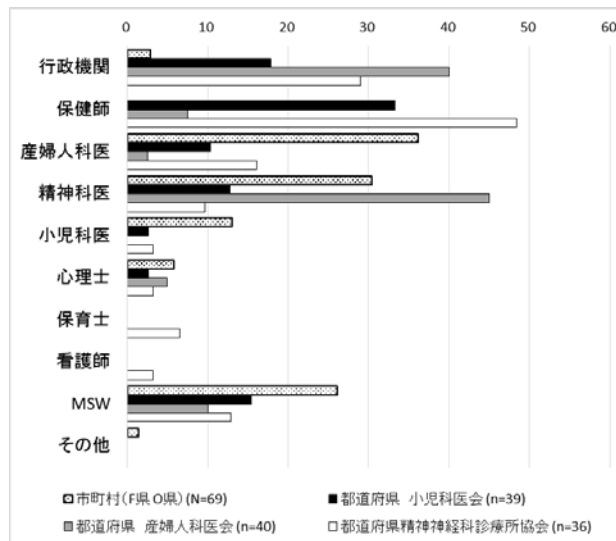
値は%を示す



A22/A7/A7/A7 妊娠期から乳児期の様々な課題に対する多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

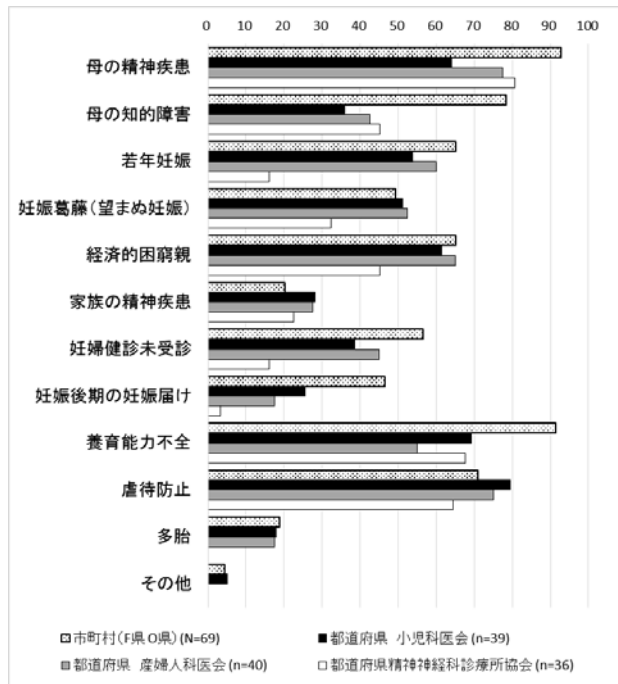
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政機関	2.9	17.9	40	29
保健師	0.0	33.3	7.5	48.4
産婦人科医	36.2	10.3	2.5	16.1
精神科医	30.4	12.8	45	9.7
小児科医	13.0	2.6	0	3.2
心理士	5.8	2.6	5	3.2
保育士	0.0	0	0	6.5
看護師	0.0	0	0	3.2
MSW	26.1	15.4	10	12.9
その他	1.4	0	0	0

値は%を示す



A6/A8/A8/A8 連携が特に必要と思われる主な理由は何ですか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
母の精神疾患	92.8	64.1	77.5	80.6
母の知的障害	78.3	35.9	42.5	45.2
若年妊娠	65.2	53.8	60	16.1
妊娠葛藤 (望まぬ妊娠)	49.3	51.3	52.5	32.3
経済的困窮親	65.2	61.5	65	45.2
家族の精神疾患	20.3	28.2	27.5	22.6
妊婦健診未受診	56.5	38.5	45	16.1
妊娠後期の妊娠届け	46.4	25.6	17.5	3.2
養育能力不全	91.3	69.2	55	67.7
虐待防止	71.0	79.5	75	64.5
多胎	18.8	17.9	17.5	0
その他	4.3	5.1	0	0



-/A9/-/- 特定妊婦から出生した子どもに関する情報を、何らかの形で行政機関と共有するシステムはありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある		33.3		
ない		25.6		
わからない		38.5		

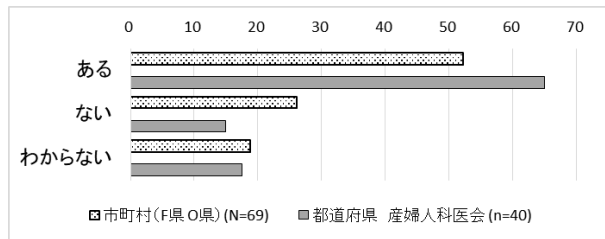
値は%を示す



A8/-/A9/- 地域の中で周産期のメンタルヘルスの問題 (妊婦・褥婦の精神疾患等) を診ている精神科はありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある	52.2		65	
ない	26.1		15	
わからない	18.8		17.5	

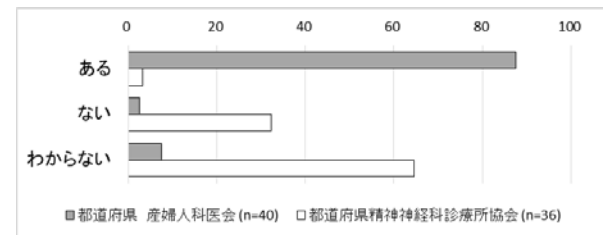
値は%を示す



-/-/A10/A9 特定妊婦の情報を何らかの形で、行政機関と共有するシステムはありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある			87.5	3.2
ない			2.5	32.3
わからない			7.5	64.5

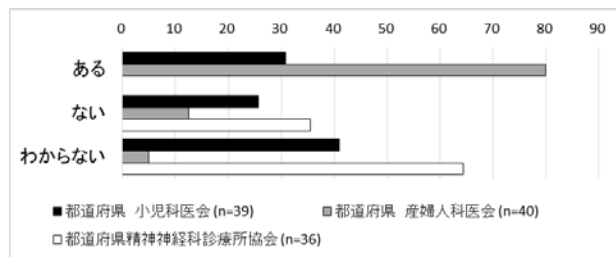
値は%を示す



一/A10/A11/A10 行政機関との間で、母子保健支援に関する連絡票等がありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
ある		30.8	80	0
ない		25.6	12.5	35.5
わからない		41	5	64.5

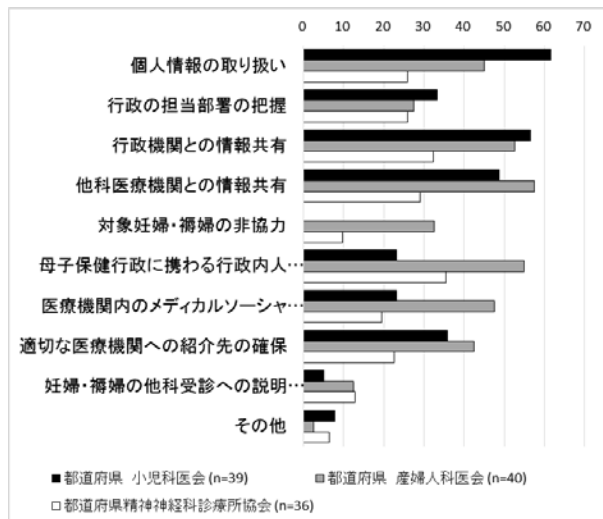
値は%を示す



一/A11/A13/A11 行政機関・他科医療機関との連携のために困っておられることは何ですか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
個人情報の取り扱い		61.5	45	25.8
行政の担当部署の把握		33.3	27.5	25.8
行政機関との情報共有		56.4	52.5	32.3
他科医療機関との情報共有		48.7	57.5	29
対象妊婦・褥婦の非協力		0	32.5	9.7
母子保健行政に携わる行政内人材不足		23.1	55	35.5
医療機関内のメディカルソーシャルワーカーの欠員/不足		23.1	47.5	19.4
適切な医療機関への紹介先の確保		35.9	42.5	22.6
妊婦・褥婦の他科受診への説明方法		5.1	12.5	12.9
その他		7.7	2.5	6.5

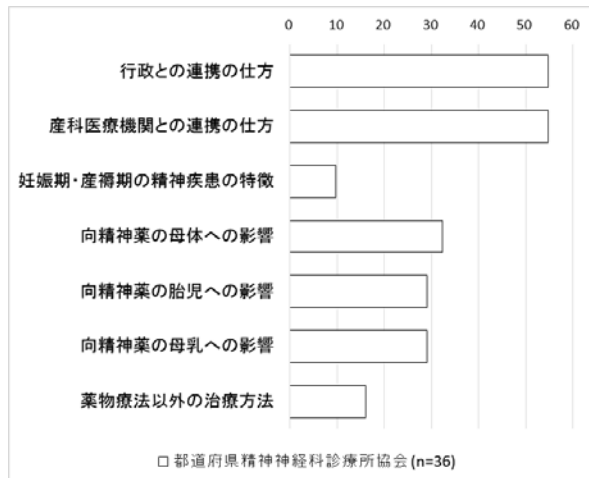
値は%を示す



一/A12/A12/A12 周産期のメンタルヘルスの診療 (妊婦の精神疾患等) で知っておきたいことはありますか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
行政との連携の仕方				54.8
産科医療機関との連携の仕方				54.8
妊娠期・産褥期の精神疾患の特徴				9.7
向精神薬の母体への影響				32.3
向精神薬の胎児への影響				29
向精神薬の母乳への影響				29
薬物療法以外の治療方法				16.1
その他				0

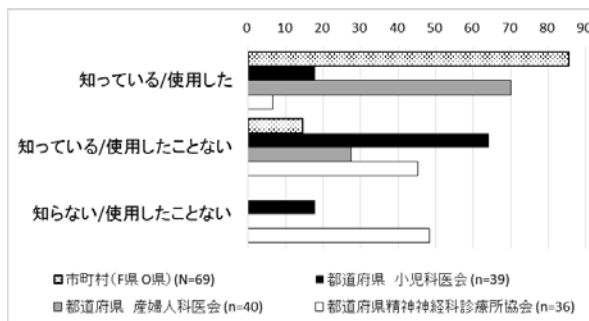
値は%を示す



A23/A12/A12/A13 エジンバラ産後うつ病自己尺度(Edinburgh Postnatal Depression Scale; EPDS)をご存知ですか/ご使用されたことありますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている/使用した	85.5	17.9	70	6.5
知っている/使用したことない	14.5	64.1	27.5	45.2
知らない/使用したことない	0.0	17.9	0	48.4

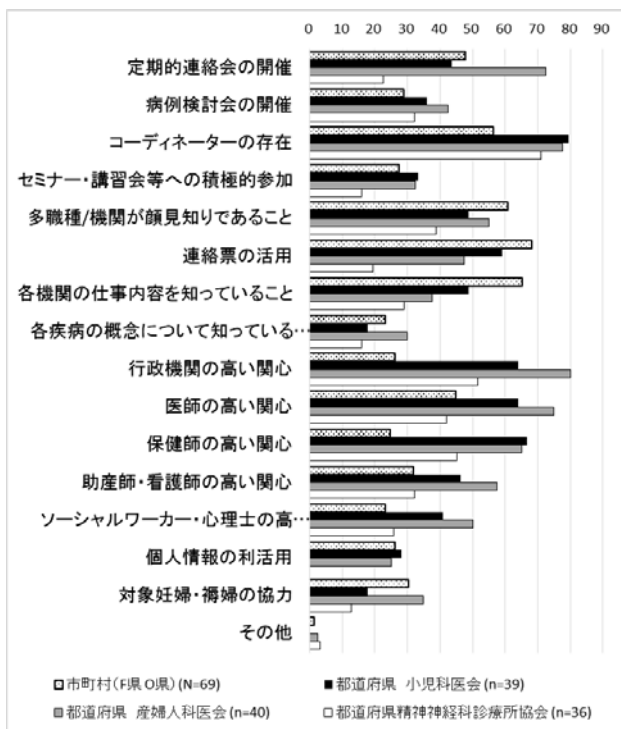
値は%を示す



A24 / A13/A14/A14 妊娠前から乳児期の親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなんでしょうか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	47.8	43.6	72.5	22.6
病例検討会の開催	29.0	35.9	42.5	32.3
コーディネーターの存在	56.5	79.5	77.5	71
セミナー・講習会等への積極的参加	27.5	33.3	32.5	16.1
多職種/機関が顔見知りであること	60.9	48.7	55	38.7
連絡票の活用	68.1	59	47.5	19.4
各機関の仕事内容を知っていること	65.2	48.7	37.5	29
各疾病の概念について知っていること	23.2	17.9	30	16.1
行政機関の高い関心	26.1	64.1	80	51.6
医師の高い関心	44.9	64.1	75	41.9
保健師の高い関心	24.6	66.7	65	45.2
助産師・看護師の高い関心	31.9	46.2	57.5	32.3
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	23.2	41	50	25.8
個人情報の利活用	26.1	28.2	25	0
対象妊婦・褥婦の協力	30.4	17.9	35	12.9
その他	1.4	0	2.5	3.2

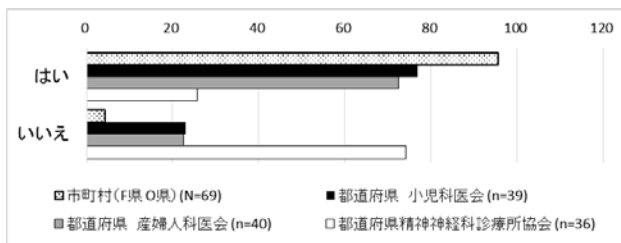
値は%を示す



A25/A14/A15/A15 平成28年～29年にかけて一部、児童福祉法が改正されたことはご存知ですか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
はい	95.7	76.9	72.5	25.8
いいえ	4.3	23.1	22.5	74.2

値は%を示す

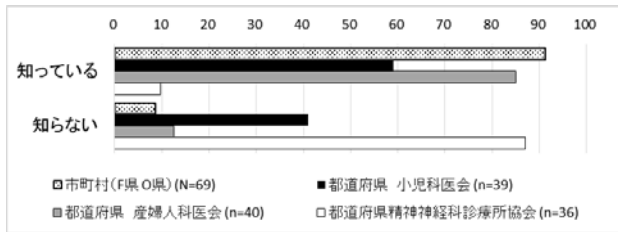


A26/A15/A16/A16 改正された児童福祉法に下記内容が明記されたことはご存知ですか？

a. 医療機関や学校等は、支援を要する妊婦を把握した場合には、その情報を市町村に提供するよう努めること

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	91.3	59	85	9.7
知らない	8.7	41	12.5	87.1

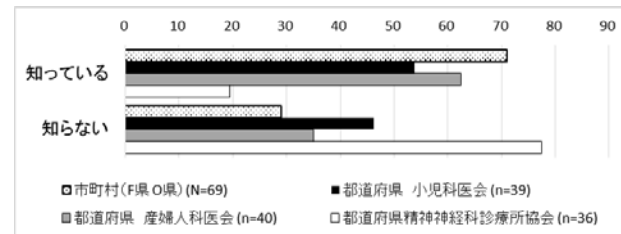
値は%を示す



b. 市町村の要保護児童対策地域協議会が実効ある役割を果たすために、医師や心理士などの専門職を配備すること

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	71.0	53.8	62.5	19.4
知らない	29.0	46.2	35	77.4

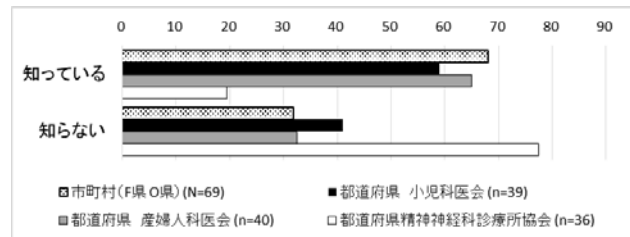
値は%を示す



c. 都道府県の業務として、里親支援の推進、養子縁組に関する相談・支援が明記されたこと

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
知っている	68.1	59	65	19.4
知らない	31.9	41	32.5	77.4

値は%を示す

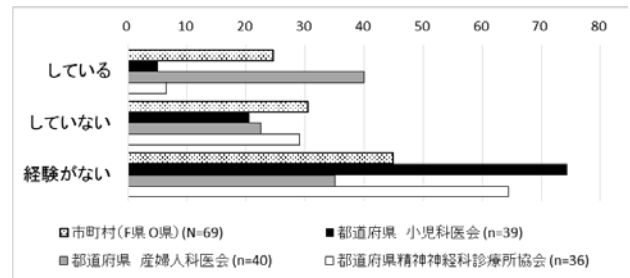


A27/A16/A17/A17 児童虐待のハイリスク妊婦/褥婦に遭遇した場合の対応についてお聞きします。

a. 里親制度について母親に情報提供していますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
している	24.6	5.1	40	6.5
していない	30.4	20.5	22.5	29
経験がない	44.9	74.4	35	64.5

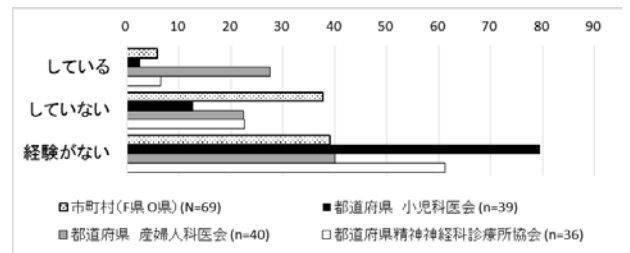
値は%を示す



b. その場合、斡旋団体を紹介していますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
している	5.8	2.6	27.5	6.5
していない	37.7	12.8	22.5	22.6
経験がない	39.1	79.5	40	61.3

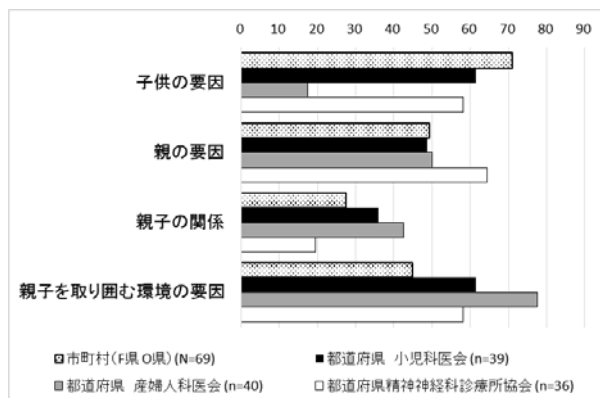
値は%を示す



B1/B1/C2/B1 保護者が感じる「育てにくさ」の主な要因は以下のどれだと思われますか？ 2つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
子供の要因	71.0	61.5	17.5	58.1
親の要因	49.3	48.7	50	64.5
親子の関係	27.5	35.9	42.5	19.4
親子を取り囲む環境の要因	44.9	61.5	77.5	58.1

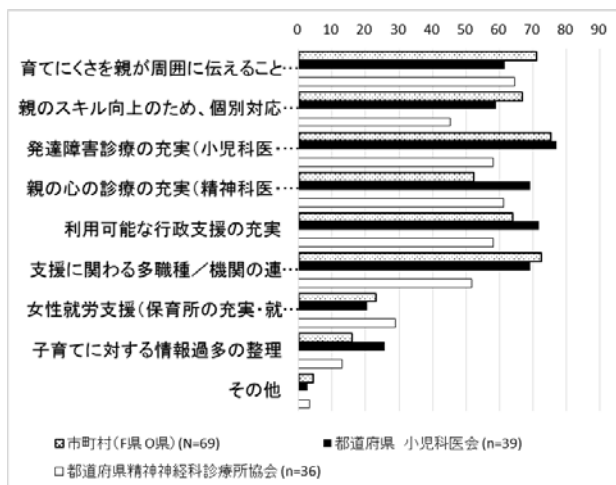
値は%を示す



B2/B2-/B2 「育てにくさ」を支援するために何が必要と思われますか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
育てにくさを親が周囲に伝えることができること	71.0	61.5		64.5
親のスキル向上のため、個別対応の充実	66.7	59		45.2
発達障害診療の充実 (小児科医・児童精神科)	75.4	76.9		58.1
親の心の診療の充実 (精神科医・診療内科医)	52.2	69.2		61.3
利用可能な行政支援の充実	63.8	71.8		58.1
支援に関わる多職種/機関の連携充実	72.5	69.2		51.6
女性就労支援 (保育所の充実・就労時間の配慮等)	23.2	20.5		29
子育てに対する情報過多の整理	15.9	25.6		12.9
その他	4.3	2.6		3.2

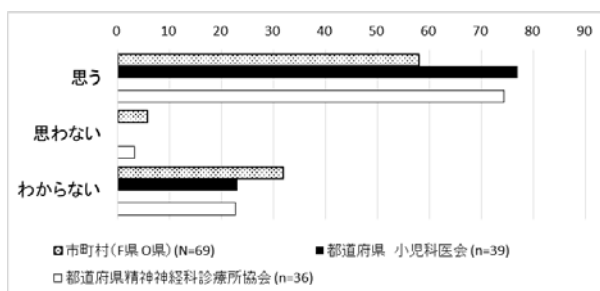
値は%を示す



B3/B3-/B3 育てにくさを感じる親子の心の診療のために、各市町村単位にコーディネーターが必要だと思いますか？

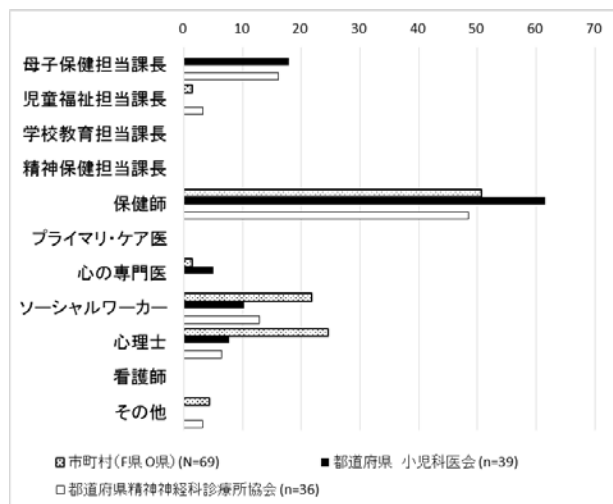
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	58.0	76.9		74.2
思わない	5.8	0		3.2
わからない	31.9	23.1		22.6

値は%を示す



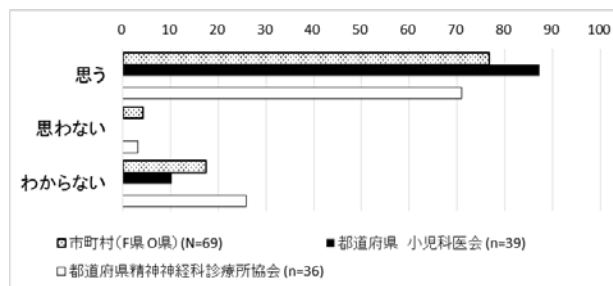
B4/B4-/B4 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰が適任でしょうか？1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	17.9		16.1
児童福祉担当課長	1.4	0		3.2
学校教育担当課長	0.0	0		0
精神保健担当課長	0.0	0		0
保健師	50.7	61.5		48.4
プライマリ・ケア医	0.0	0		0
心の専門医	1.4	5.1		0
ソーシャルワーカー	21.7	10.3		12.9
心理士	24.6	7.7		6.5
看護師	0.0	0		0
その他	4.3	0		3.2
				値は%を示す



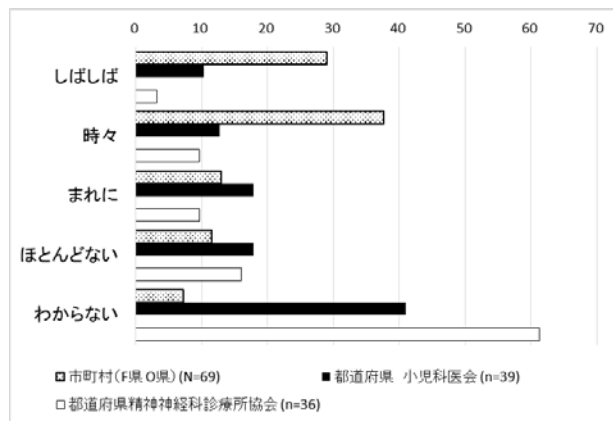
B5/B5-/B5 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と思われますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
思う	76.8	87.2		71
思わない	4.3	0		3.2
わからない	17.4	10.3		25.8
				値は%を示す



B6/B6-/B6 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施されていますか？

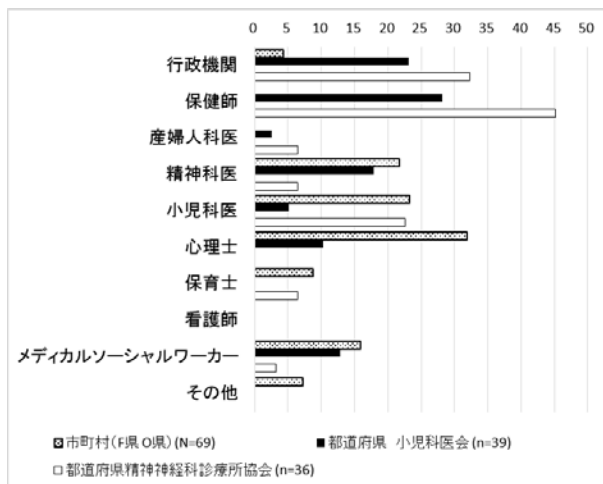
	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
しばしば	29.0	10.3		3.2
時々	37.7	12.8		9.7
まれに	13.0	17.9		9.7
ほとんどない	11.6	17.9		16.1
わからない	7.2	41		61.3
				値は%を示す



B7/B7-/B7 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 科診療所協会 (n=36)
行政機関	4.3	23.1		32.3
保健師	0.0	28.2		45.2
産婦人科医	0.0	2.6		6.5
精神科医	21.7	17.9		6.5
小児科医	23.2	5.1		22.6
心理士	31.9	10.3		0
保育士	8.7	0		6.5
看護師	0.0	0		0
メディカルソーシャルワーカー	15.9	12.8		3.2
その他	7.2	0		0

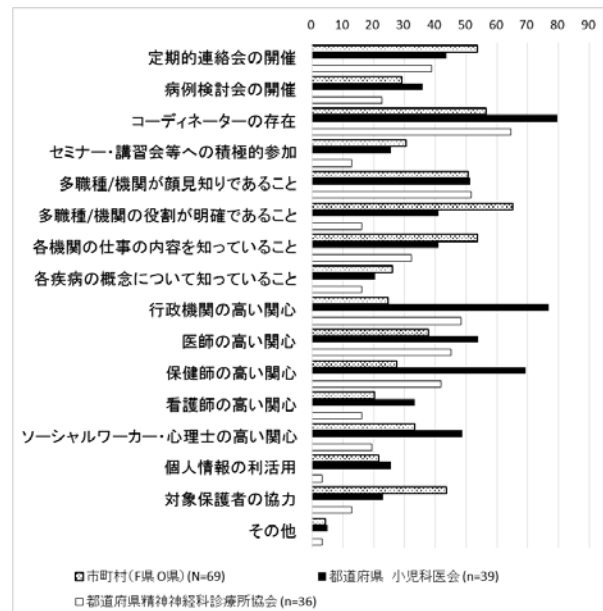
値は%を示す



B8/B8-/B8 育てにくさを感じる親子の心の診療の多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか? (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 科診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	53.6	43.6		38.7
病例検討会の開催	29.0	35.9		22.6
コーディネーターの存在	56.5	79.5		64.5
セミナー・講習会等への積極的参加	30.4	25.6		12.9
多職種/機関が顔見知りであること	50.7	51.3		51.6
多職種/機関の役割が明確であること	65.2	41		16.1
各機関の仕事の内容を知っていること	53.6	41		32.3
各疾病の概念について知っていること	26.1	20.5		16.1
行政機関の高い関心	24.6	76.9		48.4
医師の高い関心	37.7	53.8		45.2
保健師の高い関心	27.5	69.2		41.9
看護師の高い関心	20.3	33.3		16.1
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	33.3	48.7		19.4
個人情報の利活用	21.7	25.6		3.2
対象保護者の協力	43.5	23.1		12.9
その他	4.3	5.1		3.2

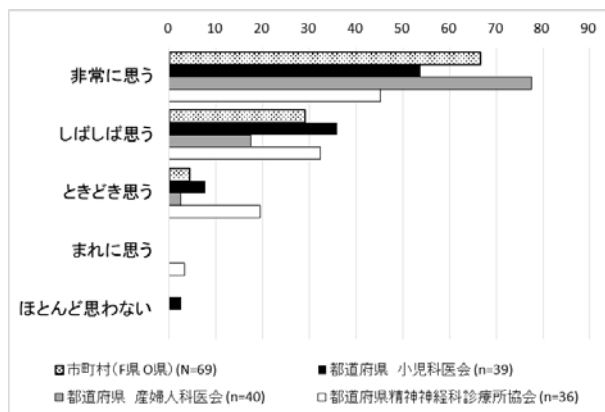
値は%を示す



C1/C1/C1/C1 子どもの心の問題は、親の心の問題(親子関係、親の病気等)が関係していると思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
非常に思う	66.7	53.8	77.5	45.2
しばしば思う	29.0	35.9	17.5	32.3
ときどき思う	4.3	7.7	2.5	19.4
まれに思う	0.0	0	0	3.2
ほとんど思わない	0.0	2.6	0	0

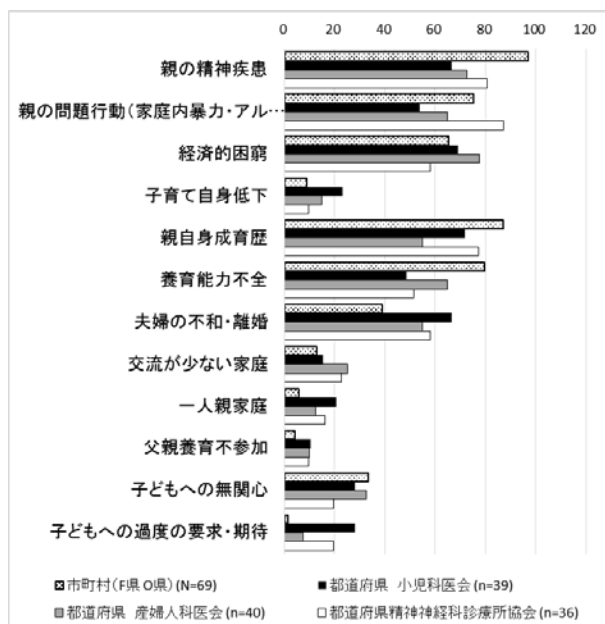
値は%を示す



C2/C2/C3/C2 親の心の問題、またはその問題の背景として重要と思われるものはどれですか？ 5つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
親の精神疾患	97.1	66.7	72.5	80.6
親の問題行動(家庭内暴力・アルコール依存等)	75.4	53.8	65	87.1
経済的困窮	65.2	69.2	77.5	58.1
子育て自身低下	8.7	23.1	15	9.7
親自身成育歴	87.0	71.8	55	77.4
養育能力不全	79.7	48.7	65	51.6
夫婦の不和・離婚	39.1	66.7	55	58.1
交流が少ない家庭	13.0	15.4	25	22.6
一人親家庭	5.8	20.5	12.5	16.1
父親養育不参加	4.3	10.3	10	9.7
子どもへの無関心	33.3	28.2	32.5	19.4
子どもへの過度の要求・期待	1.4	28.2	7.5	19.4

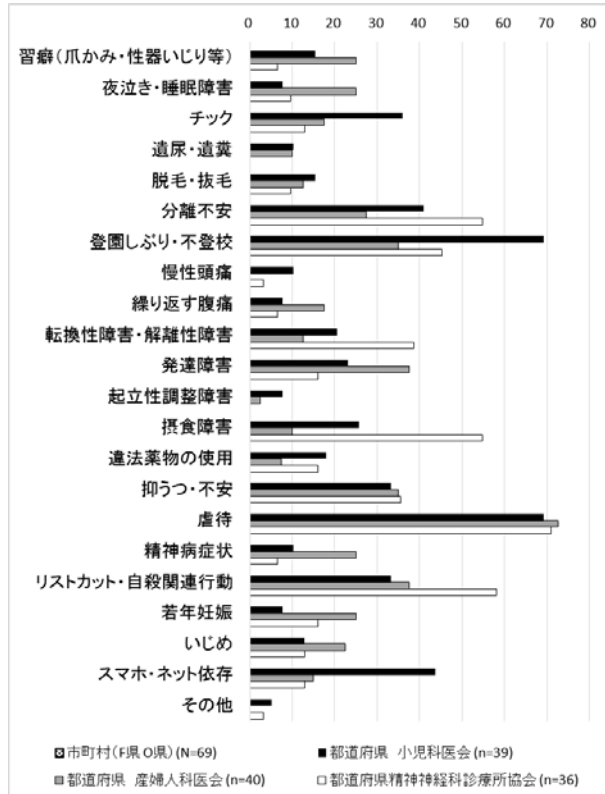
値は%を示す



一/C3/C4/C3 下記の子どもの疾患や心の問題で、親を含めた家族の心の問題の関与が強いと思われるものはどれでしょうか？ 5つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 神経診療所協会 (n=36)
習癖(爪かみ・性器いじり等)	/	15.4	25	6.5
夜泣き・睡眠障害	/	7.7	25	9.7
チック	/	35.9	17.5	12.9
遺尿・遺糞	/	10.3	10	0
脱毛・抜毛	/	15.4	12.5	9.7
分離不安	/	41	27.5	54.8
登園しぶり・不登校	/	69.2	35	45.2
慢性頭痛	/	10.3	0	3.2
繰り返す腹痛	/	7.7	17.5	6.5
転換性障害・解離性障害	/	20.5	12.5	38.7
発達障害	/	23.1	37.5	16.1
起立性調整障害	/	7.7	2.5	0
摂食障害	/	25.6	10	54.8
違法薬物の使用	/	17.9	7.5	16.1
抑うつ・不安	/	33.3	35	35.5
虐待	/	69.2	72.5	71
精神病症状	/	10.3	25	6.5
リストカット・自殺関連行動	/	33.3	37.5	58.1
若年妊娠	/	7.7	25	16.1
いじめ	/	12.8	22.5	12.9
スマホ・ネット依存	/	43.6	15	12.9
その他	/	5.1	0	3.2

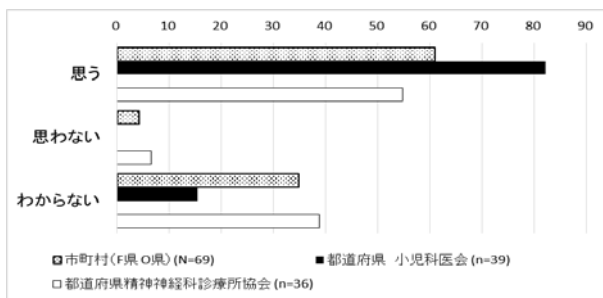
値は%を示す



C3/C4/-/C4 学童・思春期の親子の心の診療のために、各市町村単位のコーディネーターが必要と
 思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	60.9	82.1		54.8
思わない	4.3	0		6.5
わからない	34.8	15.4		38.7

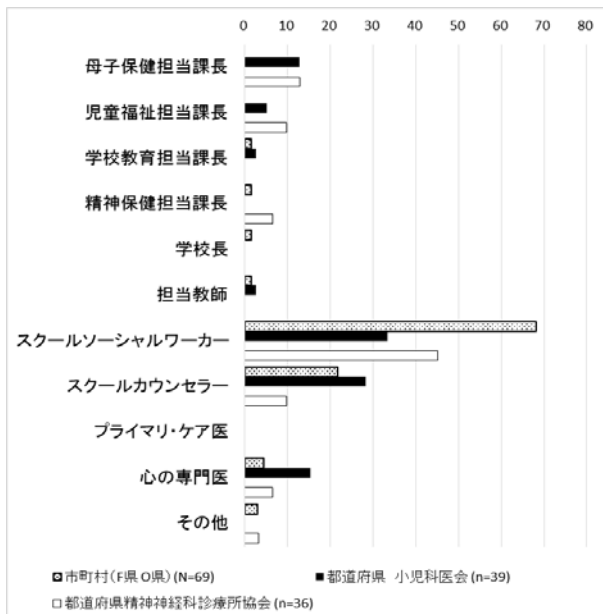
値は%を示す



C4/C5/-/C5 コーディネーターが必要となった場合、各市町村単位のコーディネーターとして誰
 が適任でしょうか？ 1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
母子保健担当課長	0.0	12.8		12.9
児童福祉担当課長	0.0	5.1		9.7
学校教育担当課長	1.4	2.6		0
精神保健担当課長	1.4	0		6.5
学校長	1.4	0		0
担当教師	1.4	2.6		0
スクールソーシャルワーカー	68.1	33.3		45.2
スクールカウンセラー	21.7	28.2		9.7
プライマリ・ケア医	0.0	0		0
心の専門医	4.3	15.4		6.5
その他	2.9	0		3.2

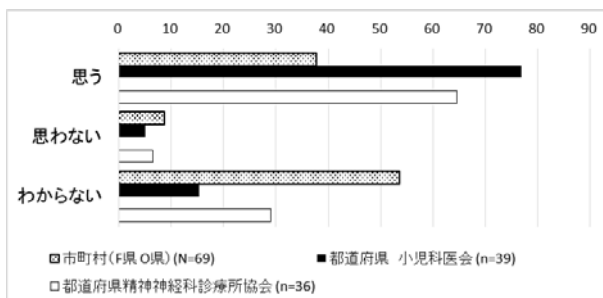
値は%を示す



C5/C6/-/C6 コーディネーターを、「子育て世代包括支援センター」に配置することを必要と
 思いますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
思う	37.7	76.9		64.5
思わない	8.7	5.1		6.5
わからない	53.6	15.4		29

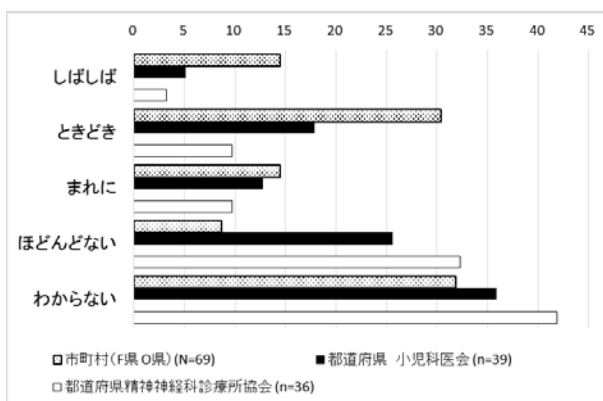
値は%を示す



C6/C7/-/C7 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携は、貴地区ではどのくらい実施
 されていますか？

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 経科診療所協会 (n=36)
しばしば	14.5	5.1		3.2
ときどき	30.4	17.9		9.7
まれに	14.5	12.8		9.7
ほとんどない	8.7	25.6		32.3
わからない	31.9	35.9		41.9

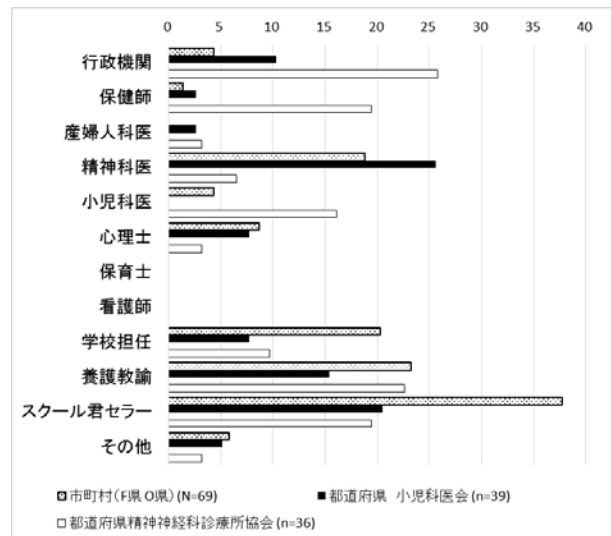
値は%を示す



C7/C8/-/C8 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携のために今後もっとも連携を強化したい機関/職種を1つ選んでください。

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 科診療所協会 (n=36)
行政機関	4.3	10.3		25.8
保健師	1.4	2.6		19.4
産婦人科医	0.0	2.6		3.2
精神科医	18.8	25.6		6.5
小児科医	4.3	0		16.1
心理士	8.7	7.7		3.2
保育士	0.0	0		0
看護師	0.0	0		0
学校担任	20.3	7.7		9.7
養護教諭	23.2	15.4		22.6
スクール君セラー	37.7	20.5		19.4
その他	5.8	5.1		3.2

値は%を示す



C8/C9/-/C9 学童・思春期の親子の心の診療のための多職種連携推進のために大切なことはなにでしょうか？ (複数回答可)

	市町村 (F県 O県) (N=69)	都道府県 小児科医会 (n=39)	都道府県 産婦人科医会 (n=40)	都道府県精神 科診療所協会 (n=36)
定期的連絡会の開催	50.7	53.8		32.3
病例検討会の開催	27.5	43.6		25.8
コーディネーターの存在	55.1	79.5		51.6
セミナー・講習会等への積極的参加	24.6	25.6		16.1
多職種/機関が顔見知りであること	63.8	48.7		51.6
多職種/機関の役割が明確であること	66.7	43.6		12.9
各機関の仕事の内容を知っていること	59.4	46.2		38.7
各疾病の概念について知っていること	29.0	25.6		22.6
行政機関の高い関心	30.4	74.4		54.8
医師の高い関心	24.6	59		45.2
保健師の高い関心	13.0	38.5		22.6
看護師の高い関心	14.5	17.9		6.5
ソーシャルワーカー・心理士の高い関心	36.2	53.8		22.6
個人情報の利活用	23.2	28.2		3.2
対象保護者の協力	36.2	28.2		16.1
その他	10.1	2.6		9.7

